

# 市議会9月定例会を開催

いわき市議会九月定例会が、九月十二日から九月三十日までの十九日間の会期で開催されました。議会では、一般・特別会計を合わせて、総額六十二億三千三百二十九万九千円に上る補正予算などが審議され、三十五議案が可決・同意されました。

なお、平成三十年度決算関連の十九議案については、継続審査となりました。

## 市長からの行政報告

清水市長は、八月二十四日に発生した、鹿島町久保地内の崖崩れについて、崩落土砂により県道小名浜平線、通称「鹿島街道」などが全面通行止めとなったほか、付近の住民の方が避難したことを報告しました。同県道四車線のうち二



行政報告を行う清水市長

車線と市道の一部の通行規制が解除となりましたが、引き続き、早期の全面復旧に取り組みとともに、周辺住民の皆さんの安全対策などに万全を期していくと述べました。

また、墓地に対する多様なニーズに応えるため、市営の東田墓園・南白土墓園において整備を進めてきた



崖崩れ発生から8時間後の鹿島町久保地内

合葬墓地について、既に供用を開始している南白土墓園の納骨堂型合葬墓地に加え、十月から東田墓園の納骨堂型合葬墓地および両墓園の樹木葬型合葬墓地の供用を開始することを報告し、安心して人生の終末期を迎えることができるよう心を配りながら、管理運営を図っていくと述べました。

## 主な議案

○いわき市会計年度任用職員の給与に関する条例の制定について

平成二十九年五月十七日に公布された「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」により、地方公務員法・地方自治法の一部が改正され、臨時・非常勤職員の適正な任用や勤

務条件を確保することを目的として新たに会計年度任用職員制度が創設されたことに伴い、同職員の給与に關し必要な事項を定めるため、同条例を制定しました。

○いわき市保育所条例等の改正について

本年五月十七日に公布された「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」により、十月一日から幼児教育・保育施設などの利用に係る費用が無償化されることから、利用者負担額を改めるほか、昨年度から休園していた四倉第三幼稚園について、本年度末をもって廃止することなど、所要の改正を行いました。

○副市長選任の同意を求めることについて

・新妻英正（新任）

# 内郷地区まちづくり懇談会を開催

～心つながる宝の郷 内郷をめざして～



内郷地区まちづくり懇談会を十月七日、内郷コミュニティセンターで開催しました。

同懇談会では、「心つながる宝の郷 内郷をめざして」をテーマに、内郷地区における諸課題や、安全・安心のまちづくりなどについて、住民の皆さんと市長・関係部長が意見を交換しました。その主な内容をお知らせします。

○白水阿弥陀堂の景観づくりについて

【提言】白水阿弥陀堂の正面の道路の沿道は、歴史や文化の香りが感じられるような雰囲気づくりが必要であると思いますが、白水阿



白水阿弥陀堂周辺の景観づくりについて提案

弥陀堂周辺の景観づくりに向けた市の考えを。

【市】内郷まちづくり市民会議との協働により作成した「内郷地区まちづくり計画」において、白水阿弥陀堂などの主要な観光拠点へのアクセス道路の景観づくりに取り組むこととしていきます。市では、平成二十七年に歴史案内表示板の設置について支援を行ったほか、平成二十九年度には、白水阿弥陀堂を活かす景観テーマに、福島県景観アドバイザーによるセミナーを開催しました。

景観形成にあたっては建物や土地利用などについて、住民の皆さんが共感できる



地区住民の方約100人が参加

ルール作りが必要になるほか、機運の高まりが必要不可欠であると考えています。今後も地域の皆さんとの勉強会や意見交換会等を開催するなど、景観形成の機運醸成に向けた取り組みを推進していきます。

○内郷消防署の建設について

【提言】現在の内郷消防署はかなり老朽化が進んでいます。市民の安全な暮らしを守るため、そして災害に強いまちづくりを進める上でも、早急な内郷消防署の建設が必要と考えますが、今後の建設計画について、市の考えを。

【市】内郷消防署は昭和三十七年十二月に建築され、



移転を検討している内郷消防署

築五十七年が経過し、老朽化が進んでいます。

庁舎の移転建設計画については、市内の消防力適正配置に係る調査を行いながら検討を進めており、移転先は総合保健福祉センターの西側を予定していますが、現在は医療センター建設に伴う臨時駐車場として活用されています。

医療センターが昨年開院したため、旧病院の場所に駐車場が整備されると、臨時駐車場としての役目を終える予定であることから、市内の他の公共施設同様に存続や統廃合など、将来像を視野に入れながら、移転改築計画について十分に検討を進めていきます。

## 主な補正予算

- ▶本庁舎等耐震化改修事業費＝2億7,919万1千円
- ▶公営住宅ストック総合改善事業費（単独）＝2億386万8千円
- ▶工場等立地奨励金＝1億9,801万円

## 特別職の紹介



※任期は、本年10月1日～令和5年9月30日。

新谷史明  
病院事業管理者(65)

上遠野裕之  
水道事業管理者(60)

新妻英正副市長(63)

新妻英正副市長(63)

新妻英正副市長(63)